

日本アジア投資株式会社 2021年3月期 第2四半期 決算補足資料

決算発表日:2020年11月13日

(ご注意) 本資料に記載された事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告ないに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。なお、本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。

日本アジア投資株式会社 2021年3月期 第2四半期決算補足資料 (2020年11月13日 発表)

- 1 -

いつもお世話になります。日本アジア投資株式会社 代表取締役社長の下村でございます。

当四半期の期末決算につき、ご説明いたします。

目次	ÅJAIC
1. 総括	Р3
2. 当四半期の実績	P4
3. 通期の業績予想	P9
4. 事業進捗の状況と下期の行動計画	P12
5. 参考情報	P23
(ご注意)本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示 日本アジア投資株式会社 2021年3月期 第2四半期決算補足資料 (2020年11	示しております。 月13日 発表) - 2 -

本日ご説明するのは、このうち1番から4番までです。

なお、当社では、ファンド連結基準と従来連結基準の2つの連結数値を開示していますが、ここでは従来連結基準でご説明いたします。

1. 総括

▲ JAIC

✓ 当四半期の実績(累計)

- 営業収益541百万円(△21.7%)、最終利益△336百万円(約1.5億円の赤字削減)
- 株式の売却高は小型化したものの利益率は改善、評価損・引当金の減少も寄与

✓ 通期の業績予想

- 数値に変更なし。収益の内容は、株式売却の一部をプロジェクトの売却に変更
- 下期に見込んでいたIPOの一部が延期、株式売却益は通期で下振れ見込み
- メガソーラープロジェクト7件、18.3MWを売却する計画(一部売却含む)
- 新型コロナウィルス感染症の当社グループへの影響は、引き続き限定的と見込む

✓ 事業進捗の状況と下期の行動計画

- プロジェクト投資:各事業が成長しSDGsに貢献
 - 再エネ:バイオガスを生成する食品リサイクル事業が営業開始
 - スマートアグリ:植物工場(レタス)の販売が拡大
 - ヘルスケア:2件の障がい者グループホームが営業開始
- プライベートエクイ投資:地域金融機関との連携やアジアネットワークを拡大
 - 北海道地域中小企業グローバル化ファンドを新設、地域の金融機関が出資
 - ベトナム全土に280支店を有するマリタイムバンクと業務協力協定を締結

日本アジア投資株式会社 2021年3月期 第2四半期決算補足資料 (2020年11月13日 発表)

まずは全体の総括です。

当四半期の累計実績は、前年同期に比べて、21.7%減収となりましたが、最終赤字は約1.5億円削減されました。前年同期は、大型の未上場株式の売却を実行しました。これに比べ当四半期は、利益率の高い上場株式の売却が中心となり、未上場株式の売却は小型でした。その結果、減収となりましたが、株式売却益は増加しました。加えて、投資資産に対する評価損や引当金が減少したことが、赤字削減に寄与しました。

通期の業績予想は、期初から変更はありません。しかしながら、収益の内容には一部変更があります。下期に期待していたIPOの一部が延期となり、株式の売却益は計画から下振れる見込みです。一方で、メガソーラープロジェクトに対する購入の意欲が、多数寄せられています。その理由の1つは、クリーンエネルギーに対する社会的なニーズが高まっていることです。加えて、コロナ禍で不確実性が高まる中、将来の売電収益が確定している点も評価されています。そこで、7件、18.3メガワットのプロジェクトを売却することを計画しています。下期は、これらのプロジェクトの売却と、計画している株式の売却実現に向けて注力し、通期の業績見込みを達成する計画です。なお、新型コロナウィルス感染症による、投資資産の毀損などの当社グループへの影響は、これまでのところ限定的であり、今後も同様であると見込んでいます。

事業進捗の状況は、プロジェクト投資では、各事業が成長して種まきから成長のステージに移行しており、手ごたえを感じています。投資活動を通じたSDGsへの貢献も大きくなってきました。再生可能エネルギープロジェクトでは、バイオガスを生成する食品リサイクル事業が営業を開始しました。食品廃棄物からバイオガスを生成して、発電に再利用する事業です。スマートアグリプロジェクトでは、植物工場で栽培するレタスの販売が順調に拡大しています。ヘルスケアプロジェクトでは、2件の障がい者グループホームが営業を開始しました。また、プライベートエクイティ投資では、国内の地域金融機関との連携強化と、アジアネットワークの拡大が進みました。その成果の1つが、4月に新設したファンドです。北海道の地域金融機関を出資者に迎えて、北海道に基盤を置く中堅中小企業のグローバル化を支援します。また、9月には、ベトナム全土に280の支店を持つマリタイムバンクと、業務協力協定を締結しました。

下期は、プロジェクト投資では、投資の実行や後続案件に取り組み、各事業の規模を拡大していきます。また、植物工場やグループホームに続く、新しいプロジェクト投資案件の開拓にも、引き続き注力します。プライベートエクイティでは、国内の地域金融機関とアジアネットワークを融合して、日本アジア投資という社名の通り、両地域をつなぐ投資活動を展開していく計画です。

最後に、本社オフィスの移転についてご報告します。2020年9月に東京都千代田区内で本社オフィスを移転しました。 その結果、オフィス賃料総額を以前より抑えながらも、ワンフロアとなることで業務効率が向上し、労働環境も改善され ました。なお、本移転に伴い発生した費用が当社の業績に与える影響は、業績見込値に織り込み済みです。

2. 当四半期の実績	▲ JAIC
ハイライト	P5
営業収益・営業原価内訳	P8
日本アジア投資株式会社 2021年3月期 第2四半期決算補足資料	(2020年11月13日 発表) - 4 -

それでは、実績について、前年同期との比較でご説明いたします。

2. 当四半期の実績-ハイライト P/L **JAIC** 朝会社株主に帰属する当期純利益の増減悪因 2020/3期 2Q (単位:百万円) 2021/3期 2Q 金額 金額 △ 336 営業収益 691 541 **△21.7%** △ 154 △ 481 営業原価 582 313 **△46.2%** 営業総利益 227 108 109.1% 販管費 530 544 2.6% 営業利益 **△316** △421 経営利益 △483 △335 MWW 31 340 域小 前年同期 株式売却益 他拉汀冷欄。蓝 当四半期 親会社株主に帰属 △481 する当期純利益 減収要因: ・前年同期は、売却損は発生するものの流動化を優先して、大型の未上場株式を売却 ・当四半期は、上場株式の売却が中心となり未上場株式の売却は小型化 ✓ 赤字削減要因: ・利益率の高い上場株式の売却により株式売却益が増加 ・業績改善や回収額増加の見込まれる投資先の引当金を戻し入れたため、評価損・引当金が減少

こちらはPLのハイライトです。

営業収益は、21.7%減収の、5億4千1百万円となりました。前年同期には、大型の未上場株式について、売却損は発生するものの流動化を優先して売却を実行しました。これに比べ、当四半期は、上場株式の売却が中心となり、未上場株式の売却が小型だったことが減収の要因です。

日本アジア投資株式会社 2021年3月期 第2四半期決算補足資料 (2020年11月13日 発表)

一方で、親会社株主に帰属する当期純利益は、3億3千6百万円の損失となりました。前年同期から赤字幅を1億4千5百万円削減しています。利益率の高い上場株式を売却したため、株式の売却益が増加しました。加えて、評価損や引当金の繰入額が大きく減少しています。当四半期に、一部の引当金を戻し入れたためです。過去に引当金を計上していた投資先のうち、業績の改善や回収額の増加が見込まれるものに対する引当金を戻し入れました。

なお、販管費が増加しているのは、本社移転に伴う一時的な費用が発生したためです。

2. 当四半期の実績-ハイライト B/S



(単位:百万円)	2020/3期末	2021/3期 2Q末		
	金額	金額	増減率	主な増減要因 (単位: 億円)
総資産	15,800	14,580	△7.7%	
うち 現預金	3,920	3,515	△10.3%	返済△7、投融資△7、 費用等△4.5、回収+14
うち プロジェクト投資 (営業投資有価証券・貸付金)	5,437	4,915	△9.6%	投融資実行+5、 分配・回収△10
うち 戦略投資 (営業投資有価証券)	1,005	1,155	14.9%	投資実行+1.5
うち 戦略投資以外のPE投資 (営業投資有価証券(引当後))	4,282	3,926	△8.3%	分配・回収△2 持分益・含み損益△2.5
借入金	0.166	7 460	^ O F0/	\□\☆ 。 ¬
1日八並	8,166	7,469	△8.5%	巡済△/
自己資本	7,223	6,732	△6.8%	損失△3.3、含み益△1.5
現預金+プロジェクト投資△借入金	1,191	961	△19.3%	

- ✓ 現預金:借入金の返済、投融資実行により減少
- ✓ プロジェクト投資:分配や回収により残高が減少
- ✓ 財務バランス(※):減少はしたものの一定水準を確保

(※現預金とプロジェクト投資営業資産の合計額と、借入金とを比較した財務バランス)

日本アジア投資株式会社 2021年3月期 第2四半期決算補足資料 (2020年11月13日 発表)

- 6 -

こちらはBSのハイライトです。

総資産は前期から7.7%減少して、145億円となりました。現預金は、借入金の返済と 投融資の実行により4億円減少しています。プロジェクト投資は、残高が5億円減少し ました。売電済みプロジェクトからの分配があったことや、1件の建設中のプロジェクトを事業の採算性が低下したため回収したことが減少要因です。

また、借入金は着実に返済を進めています。

その結果、現預金とプロジェクト投資資産の合計と、借入金のバランスは、減少したものの一定水準を確保しています。

2. 当四半期の実績-ハイライト C/F



(単位:百万円)	2020/3期 2Q	2021/3期 2Q
営業活動によるCF	△870	1 326
投資活動によるCF	56	↓ △13
財務活動によるCF	△1,095	1 △697
CF増減額	△1,920	△396
期末残高	2,161	2,326

✓ 営業CF: 326百万円の収入

投資の回収が進み黒字転換

✓ 投資CF: 13百万円の支出

本社移転に伴う固定資産の取得による支出が発生

✓ 財務CF: 697百万円の支出

返済額を減額したため支出額が減少

新規の投資資金と経常的な支払いは投資の回収資金で賄えているが、借入金の返済は手許のキャッシュ残高を減らして行っている状況

日本アジア投資株式会社 2021年3月期 第2四半期決算補足資料 (2020年11月13日 発表)

- 7

次にキャッシュ・フローです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、投資の回収が進み黒字転換し、3億2千6百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、本社移転に伴う固定資産の取得などにより、1千3百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済により6億9千7百万円の支出となりました。返済額を減額したため、支出額は前期から減少しています。

結果として、キャッシュ・フロー全体では3億9千6百万円の支出超過となり、キャッシュの期末残高は23億2千6百万円となっています。

新規の投資資金と経常的な支払いは投資の回収資金で賄えていますが、借入金の返済は 手許のキャッシュ残高を減らして行っている状況です。

2. 当四半期の実績 - 営業収益・営業原価 内訳



	合	合計 プライ/		Lクイティ投資	プロジェ	クト投資
(単位:百万円)	2020/3期 2Q	2021/3期 2Q	2020/3期 2Q	2021/3期 2Q	2020/3期 2Q	2021/3期 20
営業収益	691	541	586	3 402	104	139
管理運営報酬等	107	82	106	79	1	3
営業投資有価証券売却高	406	232	406	232	0	(
組合持分利益・インカムゲイン等	155	198	66	85	89	7 113
その他営業収益	20	26	7	4	13	22
営業原価	582	313	531	239	50	74
営業投資有価証券売却原価	356	85	356	3 85	0	(
営業投資有価証券評価損・ 投資損失引当金繰入額	160	△62	160	≥ △62		
組合持分損失等	61	285	11	213	50	7 72
その他営業原価	2	3	2	2	-	1
営業総利益	108	227	54	162	54	7 64

- ✓ プライベートエクイティ投資:減収・増益
 - ・営業収益(営業投資有価証券売却高) : 未上場株式の売却が小型化したため減少
 - ・営業原価(営業投資有価証券売却原価):利益率の高い上場株式の売却中心となり減少
 - ・営業原価(評価損・引当金繰入額) : 引当金の戻し入れにより減少
- ✓ プロジェクト投資:増収・増益
 - ・営業収益(組合持分利益・インカムゲイン等):売電を開始したプロジェクトが増加
 - ・営業原価(組合持分損失等) : 植物工場の先行費用が増加

日本アジア投資株式会社 2021年3月期 第2四半期決算補足資料 (2020年11月13日 発表)

次に、営業収益と営業原価について、科目別・投資資産別の内訳をご説明いたします。

プライベートエクイティ投資は、前年同期から減収・増益となりました。

営業収益のうち「営業投資有価証券売却高」が減少しています。未上場株式の売却が小型化したことによるものです。これに対応する、営業原価の「営業投資有価証券売却原価」は、利益率の高い上場株式の売却が中心となったため、売却高の減少以上に減少しています。また、営業原価のうち評価損と繰入額も、引当金の戻し入れにより減少しました。他社ファンドからの損失発生により「組合持分損失等」は膨らみましたが、これを補って増益となりました。

プロジェクト投資については、前期から増収、増益となりました。

売電を開始したメガソーラープロジェクトの収益貢献が増加した一方で、植物工場の先 行費用も増加したため、増益幅は少額となっています。

3. 通期の業績予想	▲ JAIC
業績見込値の詳細	P10
将来に関する記述等についてのご注意	P11
日本アジア投資株式会社 2021年3月期 第2四半期決算補足資料 (2020年11月)	13日 発表) - 9 -

ここからは、通期の業績予想について、ご説明します。

3. 通期の業績予想 - 業績見込値の詳細



単位:百万円	2021/3 2Q実績	
	4	企額
営業収益	K	541
営業原価		313
営業総利益		227
販管費		544
営業利益	2	∆316
経常利益		∆335
親会社株主に帰属する当期純利益	1	∆336

上期見込 (2020年8月修正値)		
金額	達成率	
670	80.8%	
490	63.9%	
180	126.6%	
570	95.5%	
△390	-	
△420	-	
△440	_	

通期見込 (修正なし)		
金額	進捗率	
3,250	16.7%	
1,800	17.4%	
1,450	15.7%	
1,100	49.5%	
350	-	
200	-	
180	-	

- ✓ 上期見込達成率:営業収益80.8%、最終赤字約1億円削減。
 - ・営業収益:上場株式の株価が想定を下回り売却が進捗しなかったため見込みから下振れ
 - ・赤字幅 :投資損失引当金の戻し入れが発生したため削減
- ✓ 通期見込:修正なし
 - ・下期に見込んでいたIPOのうち一部が延期、株式売却益は通期で下振れ見込み
 - ・下期の株式売却益は、大口の海外未上場株の売却が中心となる見込み
 - ・メガソーラープロジェクト7件、18.3MWを売却する計画(一部売却含む)
 - ・3Qまでは赤字の見込み

日本アジア投資株式会社 2021年3月期 第2四半期決算補足資料 (2020年11月13日 発表)

- 10

こちらは、2021年3月期の業績見込値の詳細です。

まず、上期の業績見込みの達成率は、営業収益で8割程度、最終赤字は約1億円の削減となりました。上場株式の株価が想定を下回り売却が進捗しなかったため、営業収益は見込みから下振れました。一方で、投資損失引当金の戻し入れが発生したため、見込みに比べて赤字が削減されました。

通期の見込数値に、変更はありません。営業収益は32.5億円、利益は1.8億円の見込です。

ただし、収益の内容に一部変更があります。期初の見込では、国内のIPOにより株式の売却益を獲得する方針であり、プロジェクトの売却を見込んでおりませんでした。しかしながら、期待していたIPOの一部が延期となり、株式売却益は通期で下振れとなる見込みです。また、下期の株式売却益は、大口の海外未上場株の売却が中心となる見込みです。一方で、最近になって、メガソーラープロジェクトに対する購入意欲が多数寄せられています。その理由は、クリーンエネルギーへの社会的なニーズの高まりと、加えて、コロナ禍で不確実性が高まる中で、将来の売電収益が確定している点が評価されている結果だと認識しています。そこで、一部売却のものを含めて、7件、合計18.3メガワットのプロジェクトを売却する計画です。下期は、これらのプロジェクトの売却と、計画している株式の売却実現に向けて注力し、通期の業績見込みを達成してまいります

なお、株式の売却やプロジェクトの売却の大半は第4四半期に実行する計画のため、第3 四半期までは赤字となる見込みです。

3. 通期の業績予想 - 将来に関する記述等についてのご注意



- ✓ 業績予想につきましては、当社グループが展開するプライベートエク イティ投資はその事業特性上株式市場等の変動要因による影響が極め て大きく、加えて昨今の変動の激しい環境下においては合理的な業績 予想が困難なため、当社は業績予想を行っておりません。
- ✓ しかしながら、投資家及び株主の皆さまの利便に資するべく、業績予想に代えて、ある一定の前提を元に策定した「従来連結基準による見込値」を、数値の確度は低いものの、参考情報として開示しております。
- ✓ なお、当該「従来連結基準による見込値」をはじめとする本資料に掲載されている全ての将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の数値は様々な要因により記述されている内容とは大きく異なる可能性があります。

日本アジア投資株式会社 2021年3月期 第2四半期決算補足資料 (2020年11月13日 発表)

- 11 -

次に、こちらでは、業績見込値をご利用になるうえでの注意事項についてご説明いたします。

当社では、その事業特性上、合理的な投資損益の見込みが立てづらいために、業績予想は開示しておりません。しかしながら、少しでも投資家の皆さまのご参考になればと考え、一定の前提のもとで策定した「従来連結基準の業績見込値」というものを、あくまで参考情報として、公表しております。

前提条件については決算短信に記載しておりますので、皆さまには、この前提条件を踏まえて見込値をご利用頂ければと存じます。

また、今後開示すべき事象が生じた場合には、適時適切に開示をしてまいります。

4.事業の進捗状況と下期の行動計画	▲ JAIC
プロジェクト投資 プライベートエクイティ投資	P13 P21
日本アジア投資株式会社 2021年3月期 第2四半期決算補足資料	(2020年11月13日 発表) - 12 -

ここからは、上期の事業の進捗状況と、下期の行動計画についてご説明します。



こちらは、プロジェクト投資の進捗状況です。この上期では、これまで種まきをしていた各プロジェクトの事業がそれぞれに進捗し、成長の手ごたえを感じています。並行して、当社の投資活動を通じたSDGsへの貢献も、徐々に大きくなってきています。

SDGsが推奨する再生可能エネルギーでは、4件、5メガワットのメガソーラープロジェクトが、新たに売電を開始しました。また、バイオガスを生成する食品リサイクル事業を開始しました。食品廃棄物を再生可能エネルギーとして再利用するものです。SDGsでは廃棄物の削減も目標としていますので、こちらにも貢献しています。これらの詳細については、次のスライドでご説明します。

スマートアグリでは、大手コンビニエンスストア向けの販路の開拓に成功しました。無農薬で栽培したサラダ用のレタスの販売が順次拡大しています。また、コロナ禍による中食需要の拡大の機を掴み、スーパーの総菜向けの販売も拡大することができました。植物工場は、農業人口の減少や高齢化による諸問題、気候変動に伴う農作物の収穫量の急激な変動、食の安全に対するソリューションとなり、「包摂的で持続可能な産業化の促進」というSDGsの目標に貢献します。

ヘルスケアでは、8月に、2件の障がい者グループホームが営業を開始しました。包摂的かつ安全でより住みやすい社会の実現に向けたソリューションを提供し、SDG s の「包摂的かつ持続可能な都市化の促進」という目標に貢献します。

ディストリビューションセンターでは、前期に投資をした2件のプロジェクトで、開発資金の大半を拠出するメイン投資家や融資先が確定し、予定通り開発を進めることができました。Eコマースの拡大に伴い需要が拡大する物流施設を提供することで、SDGsの掲げる「強靭なインフラの整備」に貢献します。また、施設内での雇用を創出し、SDGsの「生産的な完全雇用」という目標達成にも貢献します。

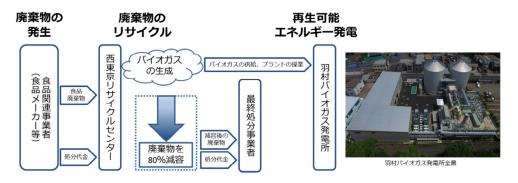
コロナ災禍を契機に、これまで人々が必要と意識していた社会の変革のスピードが、大きく加速しています。その中には、SDGsに関連したものも多くあります。当社は、この変革の中にこそ、大きな投資機会があると期待しています。



こちらは、上期に売電を開始したメガソーラープロジェクトです。北海道の厚岸と、福岡県のうきは市で発電所が完成しました。うきは市の発電所は、ソーラーシェアリングと呼ばれる営農型のものです。パネルの下で、緑化用の資材となるコケを栽培しています。コケの栽培は、業歴20年以上の実績を持つ、モス山形という会社が行っています。

4.事業の進捗状況と下期の行動計画 - 進捗状況 - 食品リサイクル事業 ▲ JAIC

バイオガスを生成する食品リサイクル事業 ~食品廃棄物を再生可能エネルギーに変えて再利用~



- ・当社の投資先である株式会社西東京リサイクルセンターは、食品廃棄物を再生可能エネルギーに変えて 再利用する食品リサイクル事業を行う
- ・食品メーカーなどの関連事業者から対価を得て食品廃棄物を引き取り、メタン発酵により食品廃棄物を 80%程度減容し、その過程でバイオガス(メタンガス)を生成
- ・生成されたバイオガスは、再生可能エネルギーとして、羽村バイオガス発電所で利用される
- ・2020年7月に羽村バイオガスプラントが竣工、8月に同社が産業廃棄物処分業許可を取得し事業開始

日本アジア投資株式会社 2021年3月期 第2四半期決算補足資料 (2020年11月13日 発表)

こちらは、バイオガスを生成する食品リサイクル事業です。食品廃棄物からバイオガスを生成して、発電に再利用します。当社の投資先である、西東京リサイクルセンターが手掛けています。

同社は、工場などの食品関連事業者から対価を得て食品廃棄物を引き取り、メタン発酵を用いて食品廃棄物を80%程度減容し、その過程でバイオガスを生成します。バイオガスは、再生可能エネルギーとして羽村バイオガス発電所で利用されます。

近年ではフードロスの削減が進められていますが、食品廃棄物を完全にゼロとすることは、現時点では困難です。そのため、廃棄物をそのまま処分するのではなく再生可能エネルギーとしてリサイクルするこの事業は、資源を有効活用することで、持続可能な社会の発展に大きく寄与すると認識しています。

同社では、現在、食品メーカーなどの事業者から廃棄物を調達する活動を鋭意推進しています。



こちらは、具体的にどのような廃棄物を調達しているか、ご紹介したものです。 製造工程中の残渣、期限切れや回収となった製品、食材の切れはし、鮮度の落ち た野菜、在庫品の処分など、人間が食用可能な物であれば、基本的に廃棄物とし て受入れることが可能です。

また、廃棄物から不純物を分別する装置が高性能であるため、プラスチック容器 に入ったままの状態や、ビニールや、ラップ等に包装されたままでも受入れるこ とができます。

4.事業の進捗状況と下期の行動計画 - 進捗状況 - ヘルスケア



障がい者グループホーム2件が営業開始







グループホーム概要

名称	ソーシャルインクルーホーム浜松神田町(かみだまち)
所在地	静岡県浜松市中区神田町
開所日	2020年8月1日
部屋数	入居者用20部屋、短期入所用2部屋
グループホーム種類	日中サービス支援型
運営者	ソーシャルインクルー株式会社

・同地域で福祉関連施設をはじめとする多数の実績を有する 小林建設㈱が建設





グループホーム概要

名称	ソーシャルインクルーホーム広島狩留家町 II (ทอสท์ธลอ)
所在地	広島県広島市安佐北区狩留家町
開所日	2020年8月1日
部屋数	入居者用20部屋、短期入所用2部屋
グループホーム種類	日中サービス支援型
運営者	ソーシャルインクルー株式会社

- ・呉信用金庫より融資を受けたプロジェクト
- ・同地域で多数のグループホームの実績を有する예榮成 (しげなり)興産が建設

グループホームでは、20名程度の身体・知的・精神障がいを持つ方が、24時間常駐の世話人の支援を受けながら共同生活をします。従来の障がい者向け 入所施設に比べ小規模なため、入居者ひとりひとりのニーズに沿った支援が可能となります。また、入居の効果として、孤立の防止、生活への不安の軽減、 共同生活による身体・精神状態の安定などが期待されています。

日本アジア投資株式会社 2021年3月期 第2四半期決算補足資料 (2020年11月13日 発表)

- 17 -

変わりましてこちらは、障がい者グループホームです。静岡県浜松市と、広島県広島市でそれぞれ8月に営業を開始しました。いずれも、地域でグループホームの建設に実績のある建設会社が建設したものです。グループホームの運営は、当社の戦略投資先であるソーシャルインクルーが担います。広島市のプロジェクトは呉信用金庫より建設資金の融資を受けて完成しました。

当社は、この事業を、金融機関から融資を受けることのできる事業として取り組み始めました。しかしながら、当社にとって新たな取り組みであったため、金融機関からの融資を受けるまでには多くの困難がありました。今回、呉信用金庫より、プロジェクトの採算性やグループホームの社会的意義に深いご理解をいただき初めて融資を受けることができたことは、非常に大きな成果だと認識しています。今後は、他の地域金融機関からの資金調達も積極的に取込み、建設数を増加していく計画です。

4.事業の進捗状況と下期の行動計画 – 進捗状況 – ディストリビューションセンター ▲ JAIC



パートナー企業のKICホールディングスと2件の施設を開発中

KIC越谷ディストリビューションセンター



二十二	7 # 日	[77]
完成音	尸泥品	×

70/-773 /0-1	
所在地	埼玉県越谷市大里下371番地 他
アクセス	東北自動車道「浦和IC」より 約6km、東武スカイツリーライ ン「大袋駅」より約1km
延床面積	11,250m²、地上4階建
竣工予定	2021年10月

KIC厚木ディストリビューションセンター



完成予想図

70/3// 3 /0/12	
所在地	神奈川県厚木市下衣知字中河 原673-1他
アクセス	圏央自動車道「圏央厚木IC」 から約1.46km、JR相模線 「海老名駅」から約1.8km
延床面積	10,890㎡(予定)、地上2 階建
竣工予定	2022年2月

日本アジア投資株式会社 2021年3月期 第2四半期決算補足資料 (2020年11月13日 発表)

こちらは、ディストリビューションセンターです。前期に、埼玉県越谷市と神奈 川県厚木市のプロジェクトに投資をしています。プロジェクトの開発は、戦略投 資先のKICホールディングスが行っています。

どちらの施設も、この上期に、開発資金の大半を拠出するメインの投資家が確定 しました。非常に立地が良く交通が至便な点が評価された結果です。越谷市のプ ロジェクトでは、金融機関からの融資も実行され、建設が始まりました。厚木市 の施設は、施設完成後の借り手も確定しています。現在、越谷市の施設では、完 成後の借り手となる企業を募集中です。また、両方の施設共に、完成後の売却先 を募集しています。

コロナ災禍の中で、新しい生活様式や巣ごもり消費によるEコマースの拡大に伴 い、物流施設の需要はひっ迫しています。よって、当社は、今後も引き続きディ ストリビューションセンターへの投資に注力する方針です。

4. 事業の進捗状況と下期の行動計画 – 行動計画 – プロジェクト投資 ▲ JAIC





再生可能エネルギー

- ・バイオガスの供給量を安定させ、羽村バイオガス発電所を稼働する
- ・発電中のメガソーラープロジェクト7件、18.3MWを売却する

スマートアグリ

- ・篠山工場(レタス)の黒字化に道筋をつけ、2号工場に取り組む
- ・戦略投資先MD-Farm(イチゴ)社の販売候補先を開拓する



ヘルスケア

- ・2件の障がい者グループホームを新規に開発する
- ・金融機関と連携し障がい者グループホームの規模拡大手法を検討する
- ・1件の高齢者施設に投資を実行する



ディストリビューションセンター

- ・投資した施設について、借り手や売却候補先を開拓する
- ・新規施設の開発を進め、合計12億円の新規投資を行う

アジア投資株式会社 2021年3月期 第2四半期決算補足資料 (2020年11月13日 発表)

こちらは、プロジェクト投資の下期の行動計画の一覧です。これまでご説明した ように、再生可能エネルギーでは、食品廃棄物の調達を進め、バイオガスの供給 量を安定させたのち、羽村バイオガス発電所を稼働します。メガソーラープロジ ェクトでは、発電中の7件のプロジェクトを売却します。スマートアグリでは、 篠山工場の黒字化に道筋をつけ、レタスの2号工場に取り組みます。また、戦略 投資先のMD-Farmが手掛ける工場栽培のイチゴについて、販売候補先を開拓し ます。これについては、次のスライドで詳しくご説明します。ヘルスケアでは、 2件の障がい者グループホームを新規に開発します。また、金融機関と連携して 規模を拡大するためのスキームを検討します。高齢者施設には1件の投資を計画 しています。ディストリビューションセンターでは、投資済み施設について、借 り手や売却候補先を開拓するとともに、新規施設の開発を進め、下期に合計12 億円の新規投資を行う計画です。

4. 事業の進捗状況と下期の行動計画 - 行動計画 - 植物工場(イチゴ) ▲ JAIC

MD-Farmの手掛けるイチゴの工場栽培





国産イチゴの市場規模

- ・国内主要青果物のうち、卸売単価、卸売総額が最大規模
- ・路地物の供給は11月下旬~5月上旬の半年間に限定
- ・オフシーズンに供給可能となれば、大きな潜在需要が存在

- ・独自開発技術により、閉鎖型植物工場で通年安定栽培に成功
- ・年間を通して、安定した味・大きさで栽培可能

製品の特長

- ・夏秋期やクリスマスにも、安定した採れたての鮮度 ・国産、完全無農薬のため、洗浄せずに食用可能
- ・香りが高く、糖度14度(調整可能)

会社概要

MDF

会社名	MD-Farm(エムディーファーム)株式会社
本社所在地	新潟県新発田市中曽根町2-6-7-1
事業内容	イチゴの植物工場システム開発、生産販売
代表者	代表取締役 松田 祐樹
設立	2018年3月26日
資本金	53百万円
URL	https://www.md.farm/

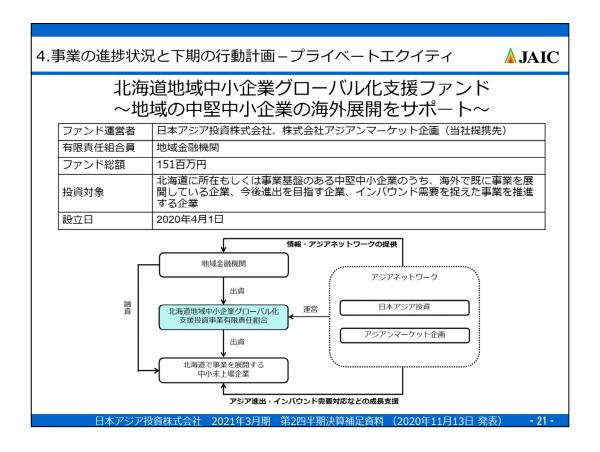
こちらは、先ほど触れたイチゴの工場栽培のご説明です。

当社の戦略投資先であるMD-Farm(エムディーファーム)という新潟県のベン チャー企業が手掛けています。

国産のイチゴは、路地栽培では季節性があり、供給される時期が11月下旬から5 月上旬の半年間に限定されています。それにもかかわらず、その卸売単価と卸売 価額は、国内主要青果物の中で最大規模を占めています。そこで、工場で栽培し 夏場のオフシーズンも含めて通年での販売が可能となれば、そこには大きな潜在 需要があると見込んでいます。

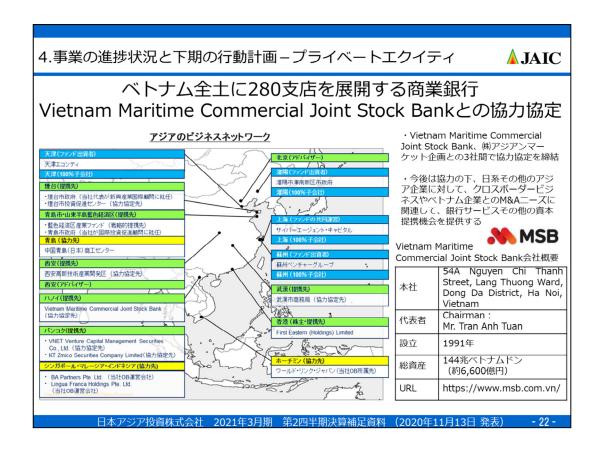
MD-Farmは、閉鎖型の植物工場で、国産のイチゴ品種を通年にわたり安定的に 栽培しています。工場でのイチゴの栽培は、長年の間技術的に困難とされてきま したが、同社が独自に開発した技術により実現にこぎつけました。高品質で鮮度 が高く、しかも、完全無農薬で栽培された安全なイチゴを提供することができま す。

現在は試作段階であり、本格生産に向けて販売候補先を募集中です。当社は、 MD-Farmに対し、資金調達の候補先や販売候補先を紹介して事業を支援してい ます。今後は、当社の野菜工場で得た知見も活かして、事業の立上げを支援して いく計画です。



最後に、プライベートエクイティの事業の進捗と下期の計画についてご説明しま す。

当社は、現在、国内の地域金融機関との連携強化と、アジアネットワークの拡大を進めています。今後は、この2つを融合して、地域金融機関に、当社のアジアネットワークを取引先の支援ツールや情報入手ツールとして活用していただき、地域金融機関の顧客のニーズと当社の人材・経験・ネットワークとを掛け合わせ、新しいビジネス機会を創造していく方針です。その成果の1つが、4月に新設したこちらのファンドです。北海道の地域金融機関を出資者に迎えて、北海道に基盤を置く中堅中小企業のグローバル化を支援します。下期は、ファンドからの投資実行を進める計画です。

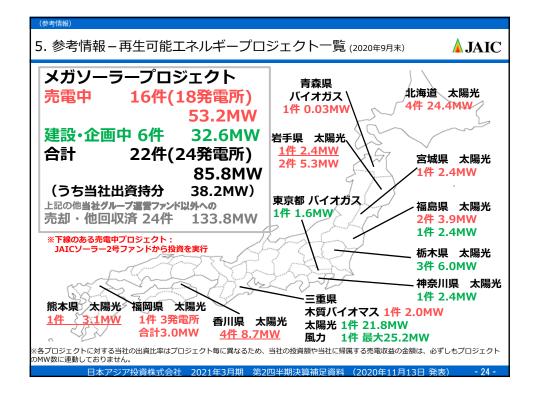


アジアネットワークの強化では、9月に、ベトナム全土に280の支店を持つマリタイムバンクと、業務協力協定を締結しました。今後は業務協力により、クロスボーダービジネスの展開やベトナム企業とのM&Aニーズを持つ日系のアジア企業などに対して、銀行サービスやその他の資本提携機会を提供していきます。マリタイムバンクからは、業務協力協定を締結する前から、ベトナム企業のM&Aや資金調達に関するニーズを多数情報提供していただいております。現在当社は、これらのニーズに応える手法を検討しているところです。

下期は、マリタイムバンクをはじめとする多数のビジネスネットワークからもたらされるニーズを元に、投資活動やM&Aビジネスを展開していく方針です。また、アジア最大の市場である中国でのネットワーク拡大にも、引き続き注力してまいります。

私からのご説明は以上となります。ご清聴ありがとうございました。

5. 参考情報	▲ JAIC
再生可能エネルギープロジェクト一覧	P24
プロジェクト投資 案件一覧	P25
プライベートエクイティ投資 投資残高内訳	P27
ファンド運用残高・投資残高・営業投資有価証券残高の関係	P28
主要データの推移	P29
営業収益・営業原価の訳	P31
投資領域	P32
JAICの強み	P33
収益構造	P34
会社概要	P36
日本アジア投資株式会社 2021年3月期 第2四半期決算補足資料 (2020年11月13	3日 発表) - 23 -



(参考情報)

プロジェクト投資 案件一覧-1 (2020年9月末)



プロジェクト 種類		発電所名/所在地	発電容量 (MW)	プロジェクト進捗状況	FIT(税抜、円)	プロジェクト総額
メガソーラー 発電	1	熊本県球磨郡錦町(※)	3.1	売電中 (2015年12月売電開始)	40	約10.5億円
光电	2	野間池ソーラー発電所(※)	2.4	売電中 (2017年5月売電開始)	36	約8億円
	3	福島猪苗代太陽光発電所	1.2	売電中 (2017年9月売電開始)	36	約3.4億円
	4	御田神辺池ソーラー発電所(※)	1.5	売電中 (2017年9月売電開始)	32	約5億円
	5	岩手一関ソーラーパーク(※)	2.4	売電中 (2018年1月売電開始)	36	約8億円
	6	帯広ソーラーバーク	4.4	売電中 (2018年3月売電開始)	40	約22億円
	7	中王田池ソーラー発電所(※)	2.4	売電中 (2018年4月売電開始)	36	約8.6億円
	8	一関市吉高太陽光発電所	2.6	売電中 (2018年6月売電開始)	36	-
	9	東王田池ソーラー発電所(※)	2.4	売電中 (2018年7月売電開始)	36	約8.6億円
	10	一関市鈴ヶ沢太陽光発電所	2.7	売電中 (2018年10月売電開始)	36	-
	11	加美ソーラーバーク	2.4	売電中 (2018年10月売電開始)	36	約9.6億円
	12	北海道紋別市弘道太陽光発電所	15.7	売電中 (2020年2月売電開始)	40	約66億円
	13	北海道亀田郡七飯(ななえ)町	2.0	売電中 (2020年3月売電開始)	36	-
	14	三重県	21.8	建設・企画中	24	-
	15	福島県	2.4	建設・企画中	32	-
	16	広野ソーラーバーク	2.7	売電中 (2020年2月売電開始)	40	-
	17	厚岸ルークシュポール太陽光発電所	2.3	売電中 (2020年5月売電開始)	40	-
	18	神奈川県	2.4	建設・企画中	32	-
	19	うきは市しらかべ太陽光発電所、 うきは市みずのさと太陽光発電所、 うきは市みのうアルプス太陽光発電所	合計3.0	売電中 (2020年3月~5月売電開始)	36	-
	20	栃木県	2.0	建設・企画中	36	-
	21	栃木県	2.0	建設・企画中	32	-
	22	栃木県	2.0	建設・企画中	32	-
			合計 85.8MW	(うち当社出資持分 38.2MW)		

日本アジア投資株式会社 2021年3月期 第2四半期決算補足資料 (2020年11月13日 発表)

- 25 -

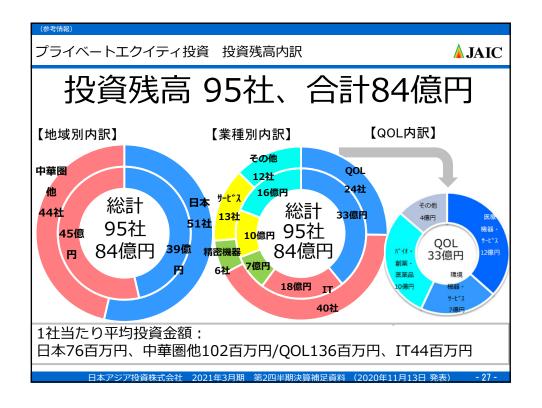
(参考情報)

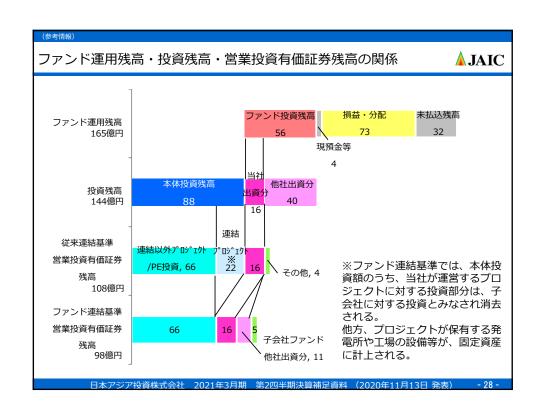
プロジェクト投資 案件一覧-2 (2020年9月末)



プロジェクト 種類		発電所名/所在地	発電容量 (MW)	プロジェクト進捗状況	FIT(税抜、円)	プロジェクト総額
木質バイオマス 発電		三重県松阪市	2.0	売電中 (2018年1月売電開始)	-	-
バイオガス発電	1	東京都	1.6	売電準備中	39	-
				バイオガスを生成する食品リサイクル会社	-	-
	2	青森東北町発電所	0.03	売電中 (2018年11月売電開始)	39	-
風力発電		三重県	最大25.2	建設・企画中	22	-
植物工場		兵庫県丹波篠山市	-	操業中(2019年3月操業開始)	-	約7億円
高齢者向け施設		東京都江東区東雲	-	建設・企画中	-	-
障がい者	1	静岡県浜松市	-	営業中(2020年8月営業開始)	-	-
グループホーム	2	栃木県宇都宮市	-	建設・企画中	-	-
	3	広島県広島市	-	営業中(2020年8月営業開始)	-	-
商業ビル		愛知県	-	営業中(既存ビルへの投資)	-	-
物流施設	1	埼玉県越谷市	-	建設・企画中	-	-
	2	神奈川県厚木市	-	建設・企画中	-	-

※: JAICソーラー2号投資事業有限責任組合から投資しているプロジェクト。





(参考情報)

主要データの推移 ①



・ファンドの状況、投資の状況

(単位:百万円)	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3
ファンド設立・増加額	5,201	500	1,000	2,000	1,359
ファンド運用残高	39,335	28,753	19,150	16,494	17,390
うち 当社グループ出資額	14,004	9,427	5,867	5,344	5,163
投資実行額 総額	4,093	4,315	3,887	3,749	3,374
投資残高 総額	18,783	16,558	13,981	13,951	15,101
投資実行額 内訳 (プライベートエクイティ投資)	1,304	1,131	1,205	136	1,224
投資残高 内訳 (プライベートエクイティ投資)	15,061	11,981	10,398	8,437	8,405
投資実行額 内訳 (プロジェクト投資)	2,788	3,184	2,681	3,612	2,150
投資残高 内訳 (プロジェクト投資)	3,722	4,576	3,582	5,514	6,696

20/3(2Q)	21/3(2Q)
-	151
15,948	16,556
5,131	4,928
1,745	533
14,678	14,376
824	158
8,260	8,375
920	374
6,418	6,000

本アジア投資株式会社 2021年3月期 第2四半期決算補足資料 (2020年11月13日 発表)

29 -

(参考情報)

主要データの推移 ②



・業績、財務状況

(単位:百万円)	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3
業績					
営業収益	4,043	3,926	5,403	2,475	2,760
営業総利益	1,554	2,176	2,328	1,286	1,359
販売費及び一般管理費	1,472	1,339	1,311	1,109	1,094
営業利益	82	836	1,017	177	265
経常利益	612	726	954	83	140
親会社株主に帰属する当期純利益	597	553	874	578	302
財務状況					
現預金	8,202	6,213	7,308	5,564	3,920
営業投資有価証券・貸付金(プロジェクト投資)	3,722	4,081	3,582	5,514	5,437
営業投資有価証券(戦略投資投資)	100	100	373	373	1,005
引当後 営業投資有価証券 (戦略投資以外のプライベートエイクイティ投資)	8,126	7,256	5,657	4,765	4,282
借入金	16,910	14,128	11,954	9,784	8,166
自己資本	4,976	5,686	6,545	6,840	7,223
総資産	22,680	20,305	19,220	17,305	15,800

20/3(2Q)	21/3(2Q)
691	541
108	227
530	544
△421	△316
△483	△335
△481	△336
2,825	3,515
6,667	4,915
745	1,155
4,577	3,926
8,689	7,469
6,507	6,732
15,761	14,580

営業収益・営業原価 内訳



((単位:百万円)	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	20/3(2Q)	21/3(2Q)	増減率(%)
1.	投資事業組合等管理業務								
	管理運営報酬等	441	364	277	241	199	107	82	△23.19
	成功報酬	288	101	86		-	-	-1	
	営業収益	729	466	364	241	199	107	82	△23.1
	営業原価	-		-	-	-	-	_	
	営業総利益	729	466	364	241	199	107	82	△23.1
2.	投資業務	$\overline{}$,	i					
	営業投資有価証券売却高	2,954	2,275	3,219	1,746	2,349	406	232	△42.8
	組合持分利益・インカムゲイン等	345	1,159	1,677	429	172	155	198	27.4
	営業収益	3,300	3,434	4,897	2,176	2,521	562	431	△23.3
	営業投資有価証券売却原価	1,863	1,423	2,469	554	965	356	85	△75.9
	営業投資有価証券評価損・ 投資損失引当金繰入額	569	274	562	579	245	160	△62	
	組合持分損失等	47	46	36	49	184	61	285	361.8
	営業原価	2,481	1,744	3,069	1,182	1,395	579	309	△46.6
	営業総利益	818	1,690	1,827	993	1,125	△16	122	
3.	その他		$\overline{}$						
	営業収益	13	25	142	57	40	20	26	29.5
	営業原価	7	6	5	6	5	2	3	44.1
	営業総利益	5	19	136	51	34	18	23	27.5
二				=	=				
	連結営業収益	4.043	2 026	E 403	2 475	2.760	691	541	△21.7
		4,043	3,926	5,403	2,475	2,760			
	連結営業原価	2,488	1,750		1,188	1,401	582	313	
	連結営業総利益	1,554	2,176	2,328	1,286	1,359	108	227	109.1

投資領域 **▲ JAIC** プロジェクト 投資事業 プライベート エクイティ投資事業 パートナー 企 業 へ の 戦 略 投 資 再生可能 エネルギー 投資 スマート アグリ 新規の 事業テーマ

プライベートエクイティ投資

成長性の高いベンチャー企業やスモール キャップ企業、事業承継問題を抱える中 小・中堅企業に対し成長資金を投資しま

が、中学企業に対しが長貢金を投貢します。 投資後は、当社が日本とアジアに有する リソースを活用して、企業の成長戦略を 支援します。

戦略投資

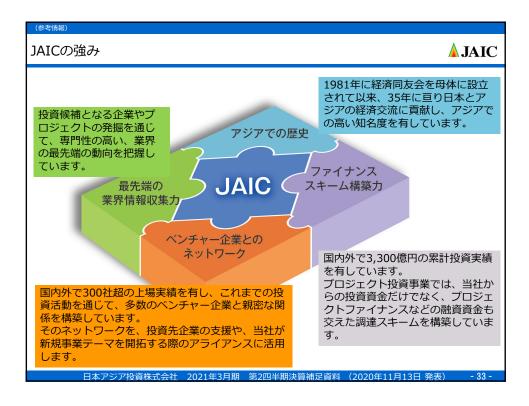
当社の注力する事業テーマに関 連する企業に、戦略的な投資を

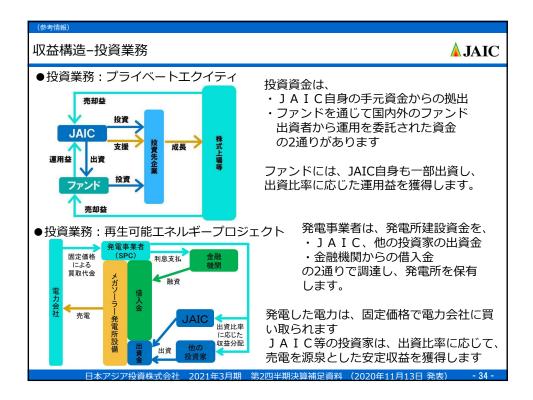
座9 る止来に、我やログのなると 行います。 投資後は、当社が事業上のパートナーとなり、事業での協業を 通じて、資金支援や営業支援を 行います。

プロジェクト投資

メガソーラーを始めとする再生可能エネルギーや、介護施設などのヘルスケア、 植物工場などのスマートアグリ、物流施設のディストリビューションセンタープロジェクトに投資をしています。 プロジェクトファイナンスによる融資資金を活用して投資の採算性を追求します。

2021年3月期 第2四半期決算補足資料



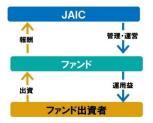


(参考情報)

収益構造-ファンド管理業務



●投資事業組合等(ファンド)の管理業務



ファンドの管理業務では、

- ・経常的な管理・運営に対して受領する 管理報酬
- ・ファンドのパフォーマンスに応じて受領 する成功報酬

の2種類の報酬があります

日本アジア投資株式会社 2021年3月期 第2四半期決算補足資料 (2020年11月13日 発表

35 -

(参考情報

会社概要(2020年9月末現在)



会社名 日本アジア投資株式会社(略称)JAIC

本社所在地 東京都千代田区九段北3丁目2番4号

設立年月日 1981年7月10日 資本金 5,426百万円

株式上場市場 東京証券取引所 市場第一部 (証券コード:8518)

従業員数 単体21名/連結37名

事業領域 プライベートエクイティ投資、プロジェクト投資

役員 取締役会長(独立社外)川俣 喜昭 : 取締役会議長

代表取締役社長 下村 哲朗取締役(常務執行役員) 八田 正史

取締役 大森 和徳 : 監査等委員長 取締役(独立社外) 安川 均 : 監査等委員 取締役(独立社外) 沼波 正 : 監査等委員 取締役(独立社外) 片桐 春美 : 監査等委員

日本アジア投資株式会社 2021年3月期 第2四半期決算補足資料 (2020年11月13日 発表)



JAIC

日本アジア投資株式会社

https://www.jaic-vc.co.jp I Rに関するお問合せ先:執行役員 岸本、管理グループ 丸山 I Rに関するお問合せアドレス:ir@jaic-vc.co.jp

(ご注意) 本資料に記載された事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後 予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大き く異なる可能性があることをご留意下さい。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的と するものではありません。なお、本資料内の業績数値は全て従来連結ベースにて表示しております。

日本アジア投資株式会社 2021年3月期 第2四半期決算補足資料 (2020年11月13日 発表)

· 37 -